

# 大町町

OMACHI TOWN 2016

町制施行80周年記念  
町勢要覧

80th Anniversary

OMACHI  
TOWN  
2016  
80<sup>th</sup>  
Anniversary

「絆

ふれあいあふれる

元気なまち 大町







# 大町町民憲章

大町町は、人間尊重の理念にたって、  
青い空、豊かな緑、きれいな水を求め  
「躍動する豊かな明るい町」づくりをするために、  
この憲章を定めます。

一、人を愛し、互いに助けあい、  
励ましあう町をつくりましょう

一、郷土の自然を愛し、美しい  
うるおいのある町をつくりましょう

一、教養をはぐくみ、文化のかおり高い  
町をつくりましょう

一、勤労をよろこび、心を合せて、  
豊かな町をつくりましょう

一、体育にしたしみ、健康で活力のある  
町をつくりましょう

## CONTENTS

### 本編(目次)

子育て・教育	02~07
健康・福祉	08~11
産業	12~13
景観・観光	14~17
歴史・文化	18~23
大町町80年を振り返って	24~27
行政・議会	28

### 資料編(目次)

絵で見る町民のくらし	01
位置・地勢・人口	02
産業経済	03
民生・教育	04
議会・行政	05
財政	06
財政・税務	07
大町町組織機構図	08





# 子育て・教育 ―地域で育む―

地域全体で子どもの成長を見守り、子育てを助け合い、子どもと親が地域とのふれあいをもちながら、安心して遊び学ぶことができる町、子育てに希望を持てる町を目指し、「みんなで守り みんなで応援 すくすく大町っ子」を基本理念に掲げています。



### ひじり学園小学部 代かき・田植え体験

ひじり学園では毎年、5年生が地域の方の協力を得て代かき・田植えを体験しています。



### おやこの食育講座

町食生活改善推進協議会主催により、「料理の楽しさ」「食の大切さ」を学ぶため、町総合福祉保健センター「美郷」において開催されています。



### 大町子どもダッシュ村収穫祭

杵島炭鉱変電所跡活用推進会が、子どもたちに土に親んでもらおうと、芋の苗植えから収穫までの体験を行っています。

## 子育てサークル もこもこ

月に1回、町総合福祉保健センター「美郷」で開かれ、母子推進員や保育士などから子育てに関するアドバイスを受けたり、お母さん同士の情報交換や親子の仲間づくりなどが行われています。



## 放課後児童クラブ 「わかば学級」

放課後、家に保護者のいない子どもたちが、放課後児童クラブ指導員たちと宿題やお絵かきなどをしながら過ごしています。



楽しくお絵かきをする児童たち





幼児期に様々なものにふれ、  
明るくたくましい子どもへ

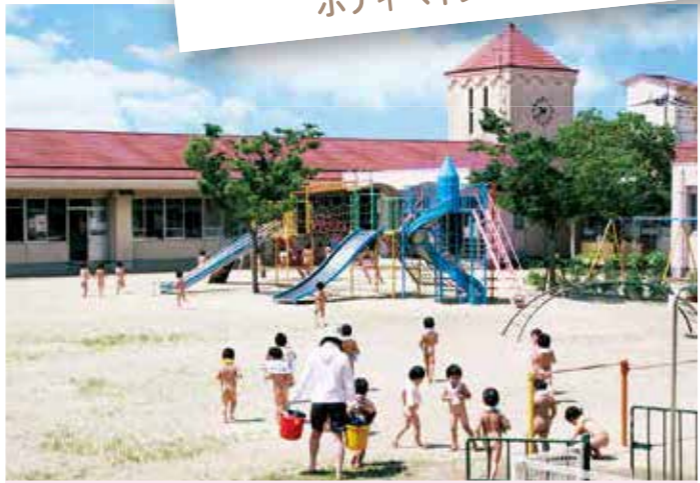


ボディペインティング



英語であそぼう

大町保育園の年長児が、ALTの先生から様々な遊びをととして英語を学んでいます。



### 大町保育園

「明るく、たくましく生きる力を育てる」を基本方針に、発達段階に応じた養護と教育の一体化により、元気で明るく、思いやりのある子どもの育成に取り組んでいます。



元気いっぱい園庭の遊具で遊んでいます。



餅つき・お芋パーティ



お米づくり

田植えから収穫まで園児たちが行っています。



たけのこ掘り

慣れた手つきで上手にたけのこ掘りをしています。



夏まつり



### 大町幼稚園

「自然と遊びと友だちと育ち合う」体験をととして、じっくりゆっくり芽を出せ、たけのこ山つ子。



味噌づくり体験





九州初の

# 大町町立小中一貫校



義務教育学校 /

# 大町ひじり学園

コミュニティ・スクール指定



平成26年度  
キャリア教育  
優良校  
文部科学大臣表彰  
小中W受賞

学校教育目標は  
「大磨 智誠(おおま ちせい)」を掲げています。  
これは知・徳・体をしっかり磨き、  
自分の未来を切り開いていく力を  
身につけさせるとともに  
社会の一員として貢献できる人材を  
育成しようという意味がこめられています。  
この目標を達成させるため、  
次の教育基本方針を具体的にあげています。



受賞を記念し、元メジャーリーガーの石井一久氏の講演が行われました。

- 1. 「知」** 毎日の授業を大切にして学力向上を図る (ICT利活用、学び合い活動)  
ねらいに沿った授業展開・読書の充実・スピーチ力の向上(ノー原稿)
- 2. 「徳」** 相手や周りのことを考えて「当たり前」の事を「当たり前」にできる」ようにする  
当たり前のこと…あいさつ、時間を守る、掃除をするなど
- 3. 「体」** めあてをもって運動に取り組む(自分に負けない心、体をつくる)

大町ひじり学園のキャリア教育  
～夢に向かって絆・全力・挑戦!～

義務教育学校とは、小学校課程から中学校課程まで義務教育を一貫して行う学校である。



## 小学部に ALTを配置

小学部の外国語活動にALTを配置し、  
早いうちから本場の英語に触れ、より身近  
に感じてもらうことで、英語力の向上を  
図っています。

## 公設算数学習塾 「まちじゅく教室」



～それぞれの理解度に応じた学習を～

「まちじゅく教室」は、ひじり学園小学部3年生～6年生を対象に、放  
課後1時間、無料で学習指導を行うもので、6年生は週に2回、3～5  
年生は週に1回、民間学習塾の講師による算数の学習が行われてい  
ます。  
「まちじゅく教室」では、児童3～4人に一人の割合で講師がつき、そ  
れぞれの理解度に応じた丁寧な指導が行われています。







# 健康・福祉 ～心身ともに健やかに～

## 大町町総合福祉保健センター“美郷”

町民の福祉と健康増進を図るため、「地域福祉センター」と「保健センター」を併設しています。館内には、広いステージを擁した大広間や調理実習室なども備え、各種健診や保健指導などのほか、様々な催しも行われています。



### ロコモ予防運動

週に一回、65歳以上の町民を対象に、運動器症候群を予防する運動を行っています。



### 福祉のつどい

毎年3月上旬に開催され、ステージイベントや健康相談、飲食コーナーなども設けられ、たくさんの町民でにぎわいます。



### 一般社団法人地域のきずな ふれあいカフェ

障害者の就労支援と町民とのふれあいを目的に、毎週月曜日～水曜日まで喫茶コーナーが開かれています。





### 大町町老人福祉センター “ひじり”

老人趣味の会や交流イベントなどをおして  
高齢者の生きがいづくりや社会参加を支援  
しています。



ひじり囲碁部の活動風景



老人趣味の会の練習風景

### スポレクまつり

ニュースポーツの普及とスポーツをおした健康づくりのため毎年行われています。  
子どもからお年寄りまでが参加し、世代間  
交流の場にもなっています。



### 健康づくり ウォーキング



美しい風景や歴史を感じさせる町並みを楽しみ  
ながら、さわやかな汗を流して歩きます。



ソフトバレーボール大会



### スポーツセンター

子どもから高齢者まで幅広い年齢層の方の  
健康づくりをサポートし、様々なスポーツ活動  
やイベント等に利用されています。



ラージボール卓球大会

### 町民運動会



秋空のもと、多くの町民が参加する町の一大イベントです。応援にも力が入り、  
会場となる町民グラウンドにはにぎやかな声が響きます。

### ペタンク大会



### 大町弓道 新年射会





# 産業



大町たるめん

## まちを支える基幹産業

町内には商業・農業・工業など、町の基盤を支える活発な産業があります。白石穀倉地帯の一翼を担う農業は、温暖な気候と肥沃な土壌を背景に、県内有数の穀倉地帯を形成し、ハウス園芸や農産物加工にも日々挑戦しています。また、炭鉱全盛期から続く商店街は、“一店逸品運動”など、独自の取り組みで魅力の創出に努めています。そして、製造業を中心とした工業は、町を担う基幹産業として、町の活性化、雇用促進に大きく貢献しています。



ラムール・ワインアイスクリーム



白黒まんじゅう



昆布巻き



炭鉱焼き豚



たるまん



大町町の風景ポストカード



佐賀藩鍋島家紋デザイン小物  
(量の縁で製作)

## 農業



米・麦・大豆を中心にキュウリやミカン、イチゴなどが栽培されています。



### 佐賀三洋工業株式会社

導電性キャパシタの生産拠点として世界中のあらゆる電子機器のニーズに応え続けています。



### 九州住電精密株式会社

独自で開発した優れた素材から信頼性の高い工具を製造し、あらゆる産業の加工に活用されています。

## 企業連絡協議会



## 商業



### 大町自動車学校

広い校舎と開放感溢れる教習所コースを有し、経験豊富な指導員が免許取得まで丁寧にサポートをします。



### 株式会社佐賀鉄工所

佐賀市に本社を置き、大町工場をはじめ県内外に4つの工場をもちます。工場では、自動車のエンジンまわりなどに使用される「高強度ボルト」などを生産しています。





# 景観・観光

~美しい自然に触れる町~

## 浦田自然公園

湖に囲まれた自然公園で、桜やツツジなど四季折々の花々を咲かせる花木が植えられています。遊歩道も整備されており、湖畔からの爽やかな空気や周囲の木々からの清涼感にあふれた心地よい雰囲気の中を周囲の美しい景観を楽しみながら散策できます。



## ボタ山わんぱく公園

炭鉱で採掘した「石炭」を選炭した後に残る岩石などを積み上げてできたボタ山。そのボタ山を整備して作られた公園には、たくさんの遊具が並び子ども広場や無料の草スキー、ドッグランなどがあり、町民の憩いの場となっています。また、佐賀平野や有明海が一望でき、天気がいい日には雲仙普賢岳まで見る事ができます。



## ふるさと大町納涼まつり



## 大町温泉「ひじり乃湯」

地下1,500mから湧き出る泉温60.9℃の天然温泉です。良質な源泉かけ流しの湯は神経痛・関節痛・冷え性・疲労回復などに効果があります。広大な露天風呂やサウナなどのほか、130人収容の大広間もあり、大小宴会も行えます。

## おおまち情報プラザ「ひじりの里」

地場産業の振興を図りながら、特産品・農産物の展示・即売や大町名物「たるめん」などを提供しています。子どもも遊べるいこいの広場やSL機関車も展示されています。







① ポタ山わんぱく公園



④ 浦田自然公園



⑤ 小通ふれあい広場



⑥ 大町温泉「ひじり乃湯」



⑦ 大町弁財天(聖岳神社)

日本神話に登場する水の神「市杵島姫命」が五穀豊穡の神として祭られています。



⑧ やすらぎパーク

商店街の中心にあり、多彩なイベントなどが行われています。



⑨ ふれあい広場



⑩ ひじりの里



② 聖岳展望所

聖岳山頂にある展望台で、登山道には792段の階段が設置されています。大町町が一望でき、晴れた日には遠く有明海や雲仙普賢岳が望めます。



③ 楠の群生林

聖岳の頂上近く、広さ1.5ヘクタールにわたり約800本の楠(樹齢100年以上)が群生しています。明治から大正にかけ、楠の苗木5万本が植林されました。県の名木古木の指定を受け、「新さが百景」にも選ばれています。

マイナスイオン



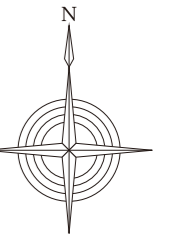
⑪ 長寿の滝

明治中頃までは聖岳山頂にある弁財天への参拝順路で、参拝者がここで手を洗い身を清めていくことから「御手水の滝」(おちょうずのたき)と呼ばれていました。滝壺の周りには石仏が立ち並び、深山の霊場の雰囲気漂わせています。

パワースポット

# 大町町 INFORMATION MAP

～たくさんの緑と安らぎに出会える町～





長崎街道  
 ~後生に繋ぐ  
 歴史と文化の道~



歴史・文化

如意輪観世音菩薩像  
 町指定文化財



おくんち

大町八幡神社、福母八幡宮で毎年10月19日に催される伝統のまつりで、五穀豊穡・家内安全・無病息災を祈願します。



ふるさと文化まつり

文化の秋である11月の上旬に行われ、趣味を生かした書や絵画、洋服など数多くの趣向を凝らした作品が展示されます。



聖太鼓

聖太鼓の会は、新しい文化の創造と町の活性化を目指し、平成2年に結成された創作太鼓です。町内外の行事やイベントに出演し、勇壮かつ華麗なバチさばきで会場を盛り上げています。



回転経蔵

町指定文化財

この経蔵を一回転すると、中に納められている3,800冊の一切経を一通り読経した巧徳があると伝えられています。



ソウケ市

300年以上も続く伝統の“大町ソウケ市”。もともと大町市として夜遅くなくても帰宅できるように月夜を選んで旧暦8月14・15日に開かれていました。昭和40年頃から新暦9月14・15日に変更されましたが、雨になることが多かったため、現在では9月27日～29日の3日間、市が立ちます。(本町旧長崎街道沿い)



福母八幡宮

昔から、数々の名将が戦勝祈願をし、願いが叶う時は、御室の扉の開く音が聞こえ、宝殿がゆれ動いたと伝えられています。



大町八幡神社

神亀元年(724)壬生春成が宇佐八幡宮の分霊を奉安。また、横辺田総廟として領主の隠密祈願所として非常に重要なところでした。



横辺田代官所跡

享和元年(1801年)に藩主鍋島治茂氏が大庄屋を廃止し、その代わりに作ったもので、年貢の取り立て、土木、整備など民政を引き受けていました。



土井家住宅

当初は造酒屋であったと言われており、19世紀初頭～中頃の建築物と思われる、町家風と農家風の造りを合わせ持つ構造が貴重であるとして、国の重要文化財に指定されています。



藤六の観音

「道近さん」こと藤原道近の妻、黄金姫が祭られています。大変な難産に苦しんだ姫が、臨終の際に自分が婦人の安産を守ることを誓われたといい、長寿の滝で身を清め、その水でお茶を入れてここに供えれば安産間違いなしとして、今でも信仰を集めています。



ヤスマキ

武雄市内町の黒髪山に祟かう妖怪を退治しにやってきた鎮西八郎源為朝に、住民が感謝の酒を献上したところ、為朝は大変喜んでこの地に幕を張り酒宴を催したことからヤスマキ「夜酒幕」と呼ばれるようになったと言われています。